

# 高木仁三郎市民科学基金 助成研究/研修 完了報告書 (中間報告)

提出日：2008年5月1日

## 1. 氏名・グループ名及び研究テーマ

氏名(グループ名)	特定非営利活動法人メコン・ウォッチ
連絡先・所属など	特定非営利活動法人メコン・ウォッチ 事務局長 福田健治 〒110-0015 東京都台東区東上野1-20-6 丸幸ビル2階 電話:03-3832-5034 ファックス:03-3832-5039 <a href="http://www.mekongwatch.org">http://www.mekongwatch.org</a> <a href="mailto:info@mekongwatch.org">info@mekongwatch.org</a>
調査研究・研修のテーマ	メコン河支流におけるベトナムのダム開発と国境を越えたカンボジアへの環境社会影響に関する調査研究

## 2. 調査研究・研修結果の概要

担当スタッフの病気療養が長引いたため、助成期間の延長をお願いすることになった。2008年3月には担当スタッフの担当医師から近々復帰することが難しいという見通しを受けたため、メコン・ウォッチの他のスタッフが以下のスケジュールで調査研究活動を行うことになった。活動の内容は申請時と同様である。

- 2008年3月～5月 現地訪問を含めた情報収集
- 2008年5月～7月 分析と執筆
- 2008年7月～8月 編集、写真の選定、校正、ブックレット出版
- 2008年8月 調査結果の発表

成果は日本の政策決定者の適切な判断を促す材料として活かすことを目指す。具体的な方法として下記の2つを行う予定。

- 日本の政府、開発機関などへの情報提供

本調査研究の結果明らかになる体系的な情報、教訓、そして懸念を、財務省や外務省など日本の政策決定者、国際協力銀行(JBIC)や国際協力機構(JICA)などの開発機関へ伝えていく。事業の意思決定の上流部分に被害住民の視点からの情報提供を行い、日本の支援による各事業・計画の環境社会配慮や情報公開の改善を求め、開発による被害の回避を目指す。

- 日本の市民社会への周知

本調査研究の成果は、ブックレットの広範な配布、およびカンボジアのNGOを招いた東京と関西におけるセミナーを通して、日本の市民社会へ広く知ってもらおう。これにより自分たちのお金もたらしている影響の実態を知ってもらい、開発事業を見るための批判的な視点を提供する。セミナーの開催は2008年8月を予定している。また、ブックレットはメコン・ウォッチのウェブサイトにも掲載する。

### 3 . 調査研究・研修の経過

担当スタッフの病気療養が長引いたため、助成期間の延長をお願いすることになった。2008年3月には担当スタッフの担当医師から近々復帰することが難しいという見通しを受けたため、メコン・ウォッチの他のスタッフが以下のスケジュールで調査研究活動を行うことになった。活動の内容は申請時と同様である。

- 2008年3月～5月 現地訪問を含めた情報収集
- 2008年5月～7月 分析と執筆
- 2008年7月～8月 編集、写真の選定、校正、ブックレット出版
- 2008年8月 調査結果の発表

2008年8月初めにブックレットを出版後、完了報告書および会計報告書を提出する。

### 4 . 調査研究・研修の成果

- 調査研究の結果はブックレットとして構成し、8月初めに印刷する予定。

### 5 . 対外的な発表実績

- 以下「6. 今後の展望」参照。

### 6 . 今後の展望

成果は日本の政策決定者の適切な判断を促す材料として活かすことを目指す。具体的な方法として下記の2つを行う予定。

- 日本の政府、開発機関などへの情報提供

本調査研究の結果明らかになる体系的な情報、教訓、そして懸念を、財務省や外務省など日本の政策決定者、国際協力銀行(JBIC)や国際協力機構(JICA)などの開発機関へ伝えていく。事業の意思決定の上流部分に被害住民の視点からの情報提供を行い、日本の支援による各事業・計画の環境社会配慮や情報公開の改善を求め、開発による被害の回避を目指す。

- 日本の市民社会への周知

本調査研究の成果は、ブックレットの広範な配布、およびカンボジアのNGOを招いた東京と関西におけるセミナーを通して、日本の市民社会へ広く知ってもらおう。これにより自分たちのお金もたらしている影響の実態を知ってもらい、開発事業を見るための批判的な視点を提供する。セミナーの開催は2008年8月を予定している。

## 7. 完了報告 英文概要

Recipient Name	Mekong Watch
Belonging / Contact Address < 公表可能な問い合わせ先・ メールアドレスなど >	Kenji Fukuda, Executive Director Mekong Watch 2F Maruko Bldg. 1-20-6 Higashi Ueno, Taito-ku, Tokyo 110-0015, Japan Tel: +81 3 3832 5034, Fax: +81 3 3832 5039 E-mail: <a href="mailto:info@mekongwatch.org">info@mekongwatch.org</a>
Theme of Research/Training	Study on Vietnam's Hydropower Development in the Mekong Tributaries and its Transboundary Environmental and Social Impact in Downstream Cambodia
Name of the Organization Providing Training < 研修の該当者のみ >	

< 以下の空欄に前記 2 . に対応する内容を英文で記載して下さい。 >

The research activity concerned has been delayed and is currently ongoing. This is because the staff person in charge of the activity in Mekong Watch has been on a prolonged sick leave. In March 2008, we were told by the doctor that it is difficult for the above staff person to return to the office for a while longer. As a result, another staff person of Mekong Watch has been conducting the activity concerned. The content of the research activity is the same as that stated in the grant application. The revised schedule is described below:

- March to May, 2008 Information collection in Cambodia and Japan
- May to July, 2008 Analysis and writing in Japan
- July to August, 2008 Editing, selection of pictures, publication of the research findings as a booklet
- August 2008 Seminars in Japan on research findings

With the findings of the research activities supported by the Takagi Fund of Citizen Science, we aim to promote and facilitate appropriate decision making by the Japanese government and development agencies through following ways:

- Providing information to Japanese government and development agencies

We will deliver the research findings, including the lessons learned and concerns, to Japanese policy makers, such as the Ministry of Finance and Ministry of Foreign Affairs, and development agencies, such as the Japan Bank for International Cooperation and Japan International Cooperation Agency. By providing citizen's perspectives into the upstream of decision making, we will seek for incorporation of environmental and social consideration and improved information disclosure in development aid projects and plans supported by Japan. Ultimately, our aim is to avoid harms caused by development.

- Disseminating information to the general public in Japan

The research findings will be published as a booklet and disseminated widely in Japan. The booklet will also be posted on the Mekong Watch's website. A staff person of a Cambodian NGO will be invited to speak at the seminars in Tokyo and Kansai areas planned for August 2008. Through such information dissemination, we will provide the general public in Japan the insights into the realities of development aid, which is afforded with our tax money, and critical perspective on development aid.

**8 . 高木基金へのご意見** <高木基金の助成についてのご要望・ご感想など、  
忌憚のないご意見をお聞かせ下さい。 >

<以上です。ご協力ありがとうございました。 >